

東村山 高等学校 令和8年度（2学年用）教科

国語 科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：4 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：山崎）（2組：鮫島）（3組：山崎）（4組：山崎）（5組：鮫島）（6組：鮫島）

使用教科書：（東京書籍 『新編論理国語』）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重して、その能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話 題	書	読					
1 学 期	1 単元【世を生きる】 「世を生きるために」 【知識及び技能】 (1)ア、イ、ウ 【思考力、判断力、表現力等】 読むこと(1)ア、ウ	・「世を生きるために」 小林康夫				【知識】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【批判力】 ・文や文章の体系的な組み立て方や、接続の仕方について理解を深めている。	○	○	○	12
	2 単元【学び直し】 【知識及び技能】 (1)ア	【国語必修ライต์パーフェクト演習】 第1編・基礎編① ・慣用表現/表現/語彙/文学史 【漢字ボックス】反復ノート ④第3回～第6回 ・書き/読み/読解/読書/読書など				【知識】 ・実社会に必要な国語の知識を身に付けている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		
	3 単元【現実の中で】 「安心について」 【知識及び技能】 (1)ア、イ、ウ 【思考力、判断力、表現力等】 読むこと(1)ア、エ	・「安心について」 横濱洋彦				【知識】 ・文や文章の体系的な組み立て方や、接続の仕方について理解を深めている。 【批判力】 ・読むことにおいて、主張を支える根拠や結論を導く論議を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を理解している。	○	○	○	12
	4 単元【時代をひらく】 「政府のベンチ」 【知識及び技能】 (1)ア、イ、ウ 【思考力、判断力、表現力等】 読むこと(1)ア、エ、カ	・「政府のベンチ」 茂木健 一郎				【知識】 ・言葉には言葉そのものを認識したり、説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【批判力】 ・メディアに掲載される筆者の考えを手掛かりにして、自分の生き方について考えることができる。 【主】 ・積極的にメディアに掲載される筆者の考えを読み取り、今までの学習を生かして自分の経験を振り返り、これからの生き方について考えようとしている。	○	○	○	12
5 単元【学び直し】 【知識及び技能】 (1)ア	【国語必修ライต์パーフェクト演習】 第1編・基礎編② ・慣用表現/表現/語彙/文学史 【漢字ボックス】反復ノート ④第7回～第10回 ・書き/読み/読解/読書/読書など				【知識】 ・実社会に必要な国語の知識を身に付けている。	○	○	○	12	
定期考査						○	○			
2 学 期	6 単元【新しい視点から】 「物語の外から」 【知識及び技能】 (1)ア、イ、ウ 【思考力、判断力、表現力等】 読むこと(1)ア、カ 【単文】修学旅行計画へ学習	・「物語の外から」 厚沢啓 ・修学旅行計画へ学習（1学期末）				【知識】言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【批判力】「読むこと」において、文章の種別を踏まえて、内容や構成・論理の展開などを明確に捉え、論議を批判的に検討し、内容を理解している。 【主】他者と協力をしながら、一台端末を使用し、発表の準備をすることができる。	○	○	○	12
	7 単元【学び直し】 【知識及び技能】 (1)ア	【国語必修ライต์パーフェクト演習】 第2編・基礎編② ・身につけない漢字/慣用表現 表現/語彙/文章題 【漢字ボックス】反復ノート ④第11回～第13回 ・書き/読み/読解/読書/読書など				【知識】 ・実社会に必要な国語の知識を身に付けている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		
	8 単元【科学と人間】 「ロボットが恋人になるとき」 【知識及び技能】 (1)ア、イ 【思考力、判断力、表現力等】 読むこと(1)ア 【単文】自分をアピールする	・「ロボットが恋人になるとき」 野矢茂樹				【知識】 演説したり学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語彙の準を習し、文章の中で使うことを通じて、語彙を体系的に身に付けている。 【批判力】 主張を支える根拠や結論を導く論議を批判的に検討し、内容を理解している。	○	○	○	12
	9 単元【学び直し】 【知識及び技能】 (1)ア	【国語必修ライต์パーフェクト演習】 第2編・基礎編③ ・身につけない漢字/慣用表現 表現/語彙/文章題 【漢字ボックス】反復ノート ④第14回～第17回 ・書き/読み/読解/読書/読書など				【知識】 ・実社会に必要な国語の知識を身に付けている。	○	○	○	12
定期考査						○	○			
3 学 期	10 単元【知のゆくえ】 【広がる世界】 「もっちゃん」 「別荘とは何か」 【知識及び技能】 (1)ア、イ、ウ 【思考力、判断力、表現力等】 読むこと(1)ア、カ 【単文】志望動機	・「もっちゃん」の知性 ・「別荘とは何か」 細川英雄				【知識】 文や文章の体系的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【批判力】 文章の種別を踏まえて、内容や構成、論議の展開などを的確に捉え、論議を明確にしながら意見を整理している。	○	○	○	16
	11 単元【学び直し】 【知識及び技能】 (1)ア	【国語必修ライต์パーフェクト演習】 第2編・基礎編④ ・身につけない漢字/慣用表現 表現/語彙/文章題 【漢字ボックス】反復ノート ④第18回～第21回 ・書き/読み/読解/読書/読書など				【知識】 ・実社会に必要な国語の知識を身に付けている。	○	○	○	16
	定期考査						○	○		
									合計	140

東村山 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

国語 科目 文学国語

教科：国語

科目：文学国語

単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1 組：武川・柳澤）（2 組：武川・柳澤）（3 組：武川・柳澤）（4 組：武川・柳澤）（5 組：武川・柳澤）（6 組：武川・柳澤）

使用教科書：（第一学習社『文学国語』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
			話・聞	書	読						
1 学期	・少年との交流による私の心理の変化と、デュークをの死を受け入れるまでの過程を読み取る。 ・時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追い、題名にこめられた意味を考える	デューク（江國香織） 相棒（内海陸一郎）			○	【知識・技能】 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉えているか。	○	○	○	16	
	・詩の中の自然の描かれ方に注目し、いもうととわたくし、それぞれの心情を想像しながら味わう。	永訣の朝（宮沢賢治）	○		○	【主体性】 ・象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。	○	○	○	17	
	定期考査						○	○			
	・場面が変わる文展開を把握し、各場面における登場人物の心情を読み取る。	ナイン（井上ひさし）			○	○	【思考・判断・表現】 ・二度と失ってはならないものとは何かについて、自分の意見を積極的に文章にまとめようとしている。	○	○	○	25
	・自身の体験を棚卸し、文章にする作文	「高校生活で頑張ったこと」			○		【思考・判断・表現】 ・自身の体験を分かりやすくまとめることができる。	○	○	○	16
定期考査							○	○			
2 学期	・登場人物同士の関係や心情を把握しながら読み、僕の発言の背景にあるものを理解する。 ・短編小説の特色を理解し、ほんとの再開を繰り返すたびに実感される私の変化を読み取る。 ・汚れっちまった悲しみとは何か、詩中の表現をもとにして考え、詩の内容と韻律を深く味わう。	①バクダッドの靴磨き（米原万里） ②旅する本（角田光代） ③汚れっちまった悲しみに…（中原中也）	○	○	○	【知識・技能】 ・登場人物同士の関係や心情を理解しようとしているか。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしようとしているか。 ・繰り返し音読をし、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしているか。	○	○	○	25	
	定期考査						○	○			
	・作品中の表現に注意しながら、私が幹生の見つめていたものに気がつくまでの心情の変化を把握する。 ・端末を効果的に使い、他者にとって分かりやすいプレゼンの仕方を学ぶ。	①ひよこの眼（山田詠美） ②鼻（芥川龍之介） ③プレゼン「好きなものの紹介」（ICT端末を使う）	○	○	○	【思考・判断・表現】 ・最後の段落の私の思いについて、自分の考えを積極的に文章にまとめようとしている。 ・他者の立場に立ってわかりやすいように、プレゼンをする。	○	○	○	25	
定期考査							○	○			
3 学期	・仕事に向き合う態度と友人への思いがどのように変化するかを捉え、主人公にとっての卒業の意味を考える。 ・文語詩に親しみ、多様な隠喩を通して、こころを描きだすイメージの豊かさを味わう。	①卒業（魚住直子） ②こころ（萩原朔太郎）			○	○	【主体性】 ・卒業という題名の意味について、自分の考えをまとめようとしている。 ・我が国の言語文化の特質について理解を深めようとしている。	○	○	○	16
	定期考査						○	○		合計 140	

